

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 造血器腫瘍患者における短期生命予後予測に関する  
初回化学療法導入時の栄養スクリーニングツール法の探索

[研究責任者] 栄養管理室 管理栄養士 北和貴

[研究の背景]

造血器腫瘍（血液のがん）の患者さんでは、抗がん剤による化学療法が主体となります。化学療法では、口内炎、味覚異常、下痢、嘔吐などの副作用によって食事摂取量は低下し、低栄養状態になることがあります。これまでの報告では、造血器腫瘍患者さんの初回化学療法前でも 50.4%の割合で低栄養状態またはそのリスクがあるとされ、低栄養状態は治療の経過を悪化させる因子のひとつとされています。さらに、低栄養は感染症などの合併症の増加、化学療法の忍容性の低下、入院期間の延長、経済的コストの増加などを引き起こすことがわかっています。これらのことから、早期に低栄養のリスクのある患者さんを抽出することが必要となりますが、これまで有効な栄養スクリーニングツール法は検討されていません。そこで、造血器腫瘍患者さんにおける 2 年間の生存の確立に関連する有効な栄養スクリーニングツール法を検討することで、早期から栄養介入が可能となり治療前から栄養不良の改善や治療中の栄養不良を防ぎ、患者さんの治療の経過の改善に貢献できる可能性があると考えられます。

[研究の目的]

造血器腫瘍患者さんにおける 2 年間の生存の確立に関する、初回化学療法導入時の栄養スクリーニングツール法を探索することを目的とします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

造血器腫瘍患者さんで、西暦 2016 年 1 月 1 日から西暦 2020 年 3 月 31 日の間に長崎医療センターで初回化学療法を導入された方

●研究期間：倫理審査委員会承認日から西暦 2023 年 3 月 31 日

●利用するカルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身長、体重、検査結果（血液検査）、2年間の生存の有無、入院中の摂取した栄養量、パフォーマンスステータス（患者さんの全身状態）

この研究は、長崎医療センターのみで行われます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター  
栄養管理室 北和貴  
電話番号：0957-52-3121（代表）